新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	口腔粘膜白板症の治療法を検討するための診療録を用いた後向き研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2011 年1月 1 日以降に研究対象機関を初診した口腔白板症患者	
③概要	
口腔白板症は舌や歯肉、頰粘膜、口底などの口腔粘膜に発症する、擦っても剥がれない白斑と定義される臨床病名であります。病理学的には、上皮性過形成、軽度異型上皮、中等度異型上皮、上皮内癌、初期浸潤癌と診断される場合がおおく、そのまま放置していると口腔がんに進展する可能性があるので、近年は口腔潜在的悪性疾患の範疇に入れられています。当科単独の口腔白板症の新患患者数は年間約 20～40 例です。そこで、本研究ではこれまで当科を初診した口腔白板症患者の診療録を後向きに検討し、その治療法や予後を検証することを目的としています。	
④申請番号	2022-0110
⑤研究の目的・意義	口腔白板症患者の診療録を後向きに検討し、その治療法や予後を検証することを目的としています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2025 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究では、口腔白板症患者さんの病歴、病理結果などを検討します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究成果は、学会や専門誌などの発表に使用されますが、個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、治療内容）、病理検査結果、発症部位
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院　口腔再建外科　船山　昭典
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	本学：新潟大学医歯学総合病院　口腔再建外科　船山 昭典
⑪お問い合わせ先	所属：組織再建口腔外科学分野 氏名：船山 昭典 Tel：025-227-2880 E-mail：funayama@dent.niigata-u.ac.jp